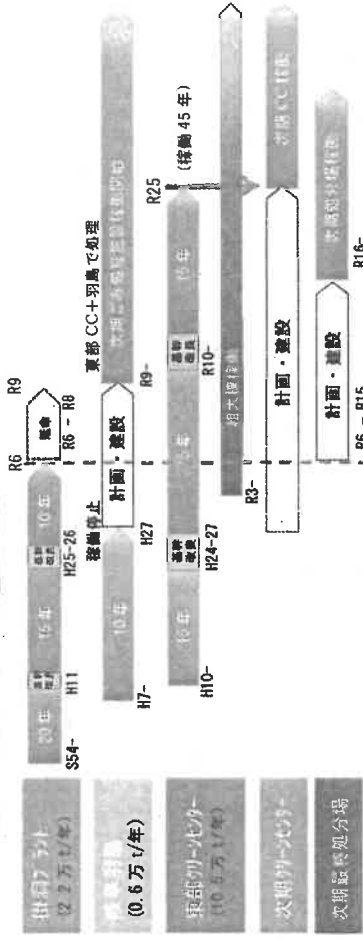


(5) ごみ処理施設整備

- ・ごみ焼却量の減少等を踏まえ、将来負担も勘案しながら、**ごみ処理施設の設置を推進**
- ・ごみ処理施設の**建設トン単価が高騰** (H14：2,000万円/t→R4：1億円/t [出典：日本環境衛生センター])
- ・ごみ処理施設が建設される**地域の理解が必要**



3 地域のごみ処理の課題

(1) 地域のごみステーションの管理運営

- ・本市のごみステーション数は、**約2万7千箇所** (他中核市の多くは、5千~1万箇所)
- ・自治会のごみステーション管理に対する**人的、金銭的負担が増加**
- ・ごみをステーションへ自ら持ち出すことが困難な高齢者等が増加

(2) 都市と地域コミュニティの持続可能性に関する懇談会

- ・「地域との協働」「防災」などをテーマとして、全6回開催 (令和6年7月~12月予定)
- ・**第2回、第3回のテーマは「環境・衛生くごみ」**

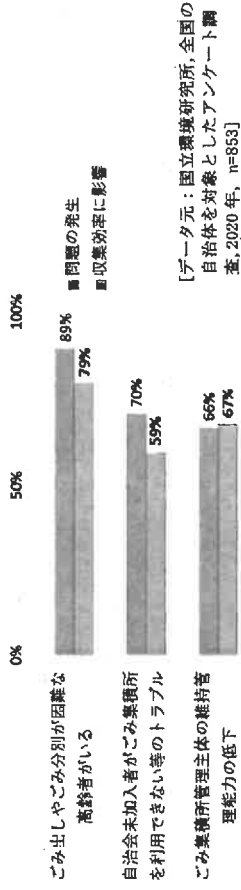
● ごみステーションにおける利用者 (自治会) の役割と自治体の役割

	利用者の役割	自治体の役割
①ごみ集積所の設置	組織の役割 設置申請 ごみ集積所設備購入	自治体の役割 ごみ集積所の設置許可 設備購入の補助
②ごみ出しと収集	ルール順守の呼びかけ 分別・排出日時を守ってごみ出し	ルールの設定と普及啓発 ごみ収集
③ごみ集積所の維持管理	ごみ集積等の調査 放置されたごみの対応 設備の改善	清掃支援 放置ごみの対応支援 改善指導・普及啓発等

[出典：国立環境研究所 客員研究員 鈴木薫 氏]

- ・自治会等の**地域コミュニティは、ごみステーション管理において非常に重要な役割を担っている**

● 地域のつながりの希薄化が自治体のごみ収集に与える影響



[データ元：国立環境研究所、全国の自治体を対象としたアンケート調査、2020年、n=853]

- ・多くの自治体で、**高齢化や地域のつながりの希薄化により、収集効率に影響を与えている**

(3) 地域のごみ処理の課題等に関する市民等の意見

- ・市民意見交換会 (R4.7~11) や事業者意見交換会 (R5.11~R6.1)、都市と地域コミュニティの持続可能性に関する懇談会 (R6.7)、環境推進員プロジェクト別研修会 (R6.10) で意見聴取

● 地域のごみ処理の課題等に関する主な意見

- ・自治会未加入者の**ごみ出しのルールが守られていない**
- ・有料化されている隣町から**ごみステーションにごみが捨てられる事例が頻発している**
- ・有料化については、賛成。そこで得たお金は、**自治会に還元して欲しい**、**ステーション管理には、お金がかかる**。自治会員でない人との差をもうけてほしい
- ・ステーション管理は、**地域コミュニティを維持していくための最後の懸念**
- ・自治会に入るメリットは、**地域とのつながりが生まれること**
- ・ごみ問題を**次世代に先送りすることは避けるべき**
- ・自治会に入っていない人は負担なしでステーションを利用している
自治会員から不満が出ているので、**自治会に対して補助をお願いしたい**
- ・自治会への加入者を増やすため、**市より何かメリットを提案していただきたい**

(4) 地域コミュニティの持続

- ・総世帯数は増加している一方、自治会加入世帯数は減少しており、**自治会加入率は年々減少**
- ・ごみステーションの管理や資源分別回収など、本市のごみ処理は、**地域の共助により成立**
- ・**高齢化、地域のつながりの希薄化が進行すると、収集効率に影響を与える恐れがある**

◇ 地域コミュニティへの支援が必要